

研究課題番号	5RF-1952
研究課題名	途上国での水銀使用抑制へ向けた環境調和型金精錬プロセスの適用と水銀排出の削減ポテンシャルの評価
研究実施期間	平成 31 年度（令和元年度）～令和 2 年度
研究機関名	千葉大学
研究代表者名	吉村 彰大

## 1. 委員の指摘及び提言概要

ASGM における水銀を用いない金精練方法の開発は重要である。有機王水を用いる技術は水銀削減を図る有効な手法であり、本研究を通じてその技術の優位性を示す萌芽的な成果が得られている。また、概数だが金採掘、精製過程での水銀発生量と開発技術による水銀削減効果を試算しているのは評価できる。しかし、現場で使用するためには、設備面やコスト面など、まだ克服しないといけない課題がかなり残されている。途上国を中心に本技術の導入を進めることが重要であるが、ASGM 現場における実状を踏まえ、安全性の確認（水域排出のリスク）とコスト面（粉砕、スケール効果）での試算に期待する。今後の水俣条約への国際的な対応にもよるが、国際共同研究を進める可能性など、国際社会への情報発信を行うのも一つの方法かと思う。

## 2. 採点結果

評価ランク：A